

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; 胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 産婦人科 (研究責任者) 佐藤 美紀子</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日 ~ 西暦 2019年 6月 30日</p>
<p>&lt;研究の目的と意義&gt; この研究は胞状奇胎除去術後の再掻爬が必要かを確認することを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。</p>
<p>&lt;利用する試料・情報の項目&gt; 胞状奇胎除去術を受けた患者さんのカルテより、再掻爬の有無、続発症を中心とした情報を収集します。</p>
<p>&lt;対象となる患者さん&gt; 2014年1月1日から2016年12月31日までの3年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さんが対象となります。</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; カルテから得られる手術データ、検査データ、診療・入院記録等の患者さんの情報を日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」へ送付し、詳しい解析を行って胞状奇胎除去術後の再掻爬の有用性を検討いたします。</p>
<p>&lt;外部への試料・情報の提供等&gt; 本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で研究参加施設より調査小委員会に提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を対応させることはありません。なお、対応表は、日本大学医学部附属板橋病院産婦人科が保管・管理します。</p>
<p>&lt;研究組織&gt; 日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」 福岡大学医学部産婦人科 教授 宮本 新吾 九州大学病院産科婦人科 助教 兼城 英輔 熊本大学医学部保健学科 教授 田代 浩徳 千葉大学大学院医学研究院生殖医学 講師 碓井 宏和 名古屋大学大学院医療行政学 講師 山本 英子 日本産科婦人科学会腫瘍登録施設(約400施設)</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

産婦人科 氏名:佐藤 美紀子

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2520

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)